

## 2018年度事業・活動報告

### 1. 古着類の回収とアル・カイル事業グループ（以下AKBG）への送り出し

1) 古着・毛布などの回収 2018年度計画：回収量120トン（計画対比94.6%）

	回収期間	回収量	送付人数
1回目	2018年9月1日～12月31日	40,087.7 kg	5,491人
2回目	2019年1月1日～4月30日	31,028.8 kg	4,728人
3回目	2019年5月1日～8月31日	42,463.3 kg	5,872人
	合計	113,579.8 kg	16,150人

2018年度の回収は、計画を120トンとしました。センターでの回収受付期間は年に3回もうけました。回収実績は113.6トンとなり計画に届きませんでした。前年度対比では111.7%となりました。

会員・支援メンバーの方からの

送付は10,063.1kgで、回収量の8.9%（延べ1,237人）になりました。ご協力ありがとうございました。

笠間市による回収協力は、2004年度から継続して行なっています。

\*協力団体の方々からの回収は、「6. 多様な団体との連携」及び資料「2018年度団体別回収集計」をご覧ください

#### ① 新しい回収協力団体の参加

常総生協の取り組みが決まり、2019年9月から回収が始まりました。

#### ② センター周辺の人たちや出展イベント来場者への広報

千葉センター、東葛センターの周辺の人たちへの広報は、センターでのポスター掲示やセンター開催のチャリティバザールなどの地域配布チラシで行ないました。また、年末には特別に回収受付期間を設けチラシで広報した結果、特に東葛センターでは回収量が増えました。出展イベントでは従来の案内チラシを配布したほかに、新しく名刺サイズの案内カードを作り配布しました。

#### ③ イベントでの回収

イベントでの回収は、回収協力団体で企画していただいた学習会やまつり会場などで行ないました。また、昨年度に継続して地域団体主催のイベント会場でも回収を行ない、あわせて8,184.6kg（16回実施：前年度実績4,079kg）集まりました。

#### ④ 新しい回収方法の検討

“片付け事業”との連携の可能性を探りました。採算性や人手などの課題がみえましたが、事業的な取り組みにはいたりませんでした。また、商業施設での回収企画として、写真展とあわせて回収を行ないました。婦人礼服メーカーの店舗で行なわれるバッグなどの回収企画に協力することが決まりました（実施は2019年度）。新しい回収方法は、対象者の具体的なイメージの掘り下げが不十分で、作る事ができませんでした。

### 2) AKBGへの古着送り出し

計画した4回の送り出しを実行しました。

1回あたりの送り出し量平均は、前年度(23,697kg)より減少し、22,760kgでした。回収量が計画に達しなかったため、圧縮した50kg

	JFSA コンテナ積み込み	AKBG 受渡し・倉庫着	送り出し量
第63回	2018年1月30日	2019年3月16日	22,975 kg
第64回	2019年5月15日	2019年7月13日	22,203 kg
第65回	2019年8月7日	2019年月日	23,103 kg
第66回	2019年9月30日	2019年11月到着予定	23,211 kg
合計			91,492 kg

ベールが不足し、圧縮しないスーツケース・靴等の積み込み量が増加したことが要因です。

### 3) 古着販売事業

JFSAからは4本のコンテナを輸出しました。グリーンコープ・ファイバーリサイクル事業部からは3本のコンテナが輸出されました。コンテナはすべて卸業者ワリー氏・ニアーズ氏に販売されました。コンテナの到着に合わせて事務局を派遣し、卸売価格交渉に参加しました。コンテナのカラチ港からの

搬出の遅延等の理由により、事務局派遣中にコンテナ荷降ろし確認を行なうことはできませんでした。AKBG 事務局カユーム氏が荷降ろしに立ち会い、報告を受けました。

2018年度のJFSAのコンテナの卸価格平均(第63~65回)は102ルピーとなり、前年度(88ルピー)を上回りました。要因としてはひとつ目に現地で需要が高い品目を前年度より多く送り出すことができました。もう一点としてはパキスタンの輸入関税が引き上げられたため、卸業者と交渉し、増加分が卸価格に上乗せされました。関税の引き上げに加え、ルピーの価値が下落し、ドル建てのコンテナ経費が増加したため、1回あたりの経費が合計40万ルピー程増しました。そのため、純利益は前年度を下回る見込みです。

2018年度のグリーンコープのコンテナの卸価格平均(第19・20回)は90ルピーで前年度(79ルピー)を上回りました。JFSAと同様の要因のため、第20回コンテナより1回当たりの粗利益が減少しています。

【資料】 JFSA第63回、第64回、第65回、第66回AKBG古着販売事業収支					
	第63回(2019年3月到着)	第64回(2019年7月到着)	第65回(2019年10月到着)	第66回(2019年11月到着 予定)	合計
古着等送出货量	22,975kg	22,203kg	23,103kg	23,211kg	91,492kg
<b>収入合計(ルピー)</b>	<b>2,240,991</b>	<b>2,220,300</b>	<b>2,495,124</b>		<b>6,956,415</b>
①卸販売(ルピー)	2,240,991	2,220,300	2,495,124		6,956,415
卸売価格	97ルピー/kg	100ルピー/kg	108ルピー/kg		平均:102ルピー/kg
*レート	1ルピー:0.79円	1ルピー:0.68円	1ルピー:0.69円		平均:1ルピー:0.72円
<b>経費合計(ルピー)</b>	<b>1,346,482</b>	<b>1,745,715</b>	<b>1,948,404</b>		<b>5,040,601</b>
①日本サイド(ルピー)	903,639	1,049,185	1,025,818		2,978,642
②パキスタンサイド(ルピー)	442,843	696,530	922,586		2,061,959
*1kg当たり経費	59ルピー/kg	79ルピー/kg	84ルピー/kg		平均:74ルピー/kg
<b>純利益(ルピー)</b>	<b>894,509</b>	<b>474,585</b>	<b>546,720</b>		<b>1,915,814</b>
<b>純利益(円建て)</b>	<b>¥706,662</b>	<b>¥322,718</b>	<b>¥377,237</b>		<b>¥1,406,617</b>
	2016年度純利益(第55~58回)5,228,459ルピー			2017年度純利益(第59~62回)3,078,054ルピー	

【資料】 グリーンコープ第19回、第20回、第21回AKBG古着販売事業収支				
	第19回(2019年1月到着)	第20回(2019年6月到着)	第21回(2019年11月到着 予定)	合計
古着等送出货量	25,609kg	24,091kg	24,506kg	74,206kg
<b>収入合計(ルピー)</b>	<b>2,202,374</b>	<b>2,264,554</b>		<b>4,466,928</b>
①卸販売(ルピー)	2,202,374	2,264,554		4,466,928
卸売価格	86ルピー/kg	94ルピー/kg		平均:90ルピー/kg
*レート	1ルピー:0.79円	1ルピー:0.65円		平均:1ルピー:0.72円
<b>経費合計(ルピー)</b>	<b>1,378,838</b>	<b>1,804,897</b>		<b>3,183,735</b>
①日本サイド(ルピー)	983,157	1,144,156		2,127,313
②パキスタンサイド(ルピー)	395,681	660,741		1,056,422
*1kg当たり経費	54ルピー/kg	75ルピー/kg		平均:65ルピー/kg
<b>純利益(ルピー)</b>	<b>823,536</b>	<b>459,657</b>		<b>1,283,193</b>
<b>純利益(円建て)</b>	<b>¥650,593</b>	<b>¥298,777</b>		<b>¥949,370</b>
	2016年度純利益(第13~15回)2,992,212ルピー		2017年度純利益(第16~18回)2,335,038ルピー	

回収量と事業利益の増加を目的に、現在の回収品目を再検討するための現地調査を行ないました。現在回収していない新たな品目について需要を確認しました。回収品目の見直しの実行に向けて、調査を継続することにしました。

## 2. AKBGとの事業連帯の推進とアル・カイルアカデミーの自立支援

### 1) JFSA 海外古着販売

日本、パキスタン双方の事業者とコミュニケーションを積極的に行う中で情報交換ができ、スムーズに事業を進めることができました。kapre<sup>カプレ</sup>千葉店での拡大は、陳列の工夫など販売環境の整理を行ない、売上昨年度対比309%となりました。インターネット販売は、作業工程表の作成や専門の事業者から話を聞くなどして体制づくりに取り組みました。イベントへは、kar-khana(カルハナ)事業(\*次の2)縫製工房を参照)製品と輸入古着を合わせた商品構成を活かして新規のイベントにも出店し、幅を広げることに努めました。

## 2) 縫製工房

- ・担当事務局を一名置き、縫製工房との連携をスムーズにしました。
- ・継続的な仕事作りを推進するために、日本で縫製工房と同規模の事業所を複数訪問しました。得られた知見から、リメイク品やオリジナルの衣料を日本とパキスタンで製作する事業を「kar-khana(カルハナ)」という名前で、新しく立ち上げました。イベントへの出店と<sup>カブレ</sup>kapre柏店での販売を2018年11月から行ない、売上は1,841,960円となりました。
- ・縫製工房の職人の人数や技術面における生産体制が不十分であるため、納品の遅れが生じました。職人の獲得と技術向上が急務であることが課題になりました。

## 3. 国内事業

### 1) センター業務

#### ① 千葉センター

倉庫内作業場のレイアウトを変更し、作業の流れ(回収→選別→梱包)に沿った配置にしました。在庫保管棚の増設を行ないました。作業の手間を省くように努めました。フォークリフトの導入については、最適な運搬器具の選定や稼働するための環境整備が間に合わず、実行できませんでした。

選別協力団体が定期的に選別作業に参加しました。オアシスは千葉市の委託事業が終了しましたが、自主グループとして継続しました。コンテナ積み込みやチャリティバザール、軒先市(センター前にて毎月第二土曜日開催)にも参加しました。団体間の寄り合いを開き、軒先市出店者の現場見学を行ないました。

\*オアシス: ワーカーズコープ千葉が母体の組織で生活保護受給者の方の社会参加を支援する事業を行なっていました。

#### ② 東葛センター

作業場の移動や在庫置き場の整理を行ない、効率化に取り組みました。回収、仕分け、販売に関する各品目の量を重さで集計し、国内販売において必要な在庫量を計りました。量については計算できましたが、作業に反映させるためのマニュアル作りは来年度の課題となりました。

### 2) ショップ販売

#### ① <sup>カブレ</sup>kapre千葉店

ショップの名前を「<sup>カブレ</sup>kapre千葉店」とし、売り場を拡大し、輸入古着の取扱量を増やしました。セールやイベントを定期的に行ない、チラシ、ハガキ、インスタグラムを利用して宣伝を行ないました。若い年代のお客さんの来店が増え、輸入古着の売上げが伸びたことで、古着の回収量は減少していますが、売上げは計画を達成しました。店外スペースの改装は、見積もりを行ないましたが、実行には至りませんでした。

#### ② <sup>カブレ</sup>kapre柏店

輸入古着販売や事業者向けの卸売が伸びたことにより、予算を達成することができました。一方で購買者数が前年を下回った点については課題となりました。インターネット販売は、店頭での販売が予想以上に伸びたことで人手が足りずに時間をかけられませんでした。作業時間に見合う結果は得られました。ホームページをリニューアルしましたが、宣伝についてはSNSが中心となりました。定休日での予約制の営業は数件利用がありました。

### 3) 街商販売(フリーマーケット、その他)

大井競馬場(12回)、千葉銀座通り(11回)、赤羽公園(11回)、味の素スタジアム(5回)、日産スタジアム(5回)などのフリーマーケットに出店しました。古着フェスティバルなどのイベントやフリマで輸入古着を積極的に販売し売上を伸ばしましたが、新規の会場の開拓が不十分でした。着物販売では上野公園のイベントに延べ20回出店しました。大型の出店会場も増えており、各会場の出店内容に応じてスタッフの人数を確保しました。出店予定の案内には専用サイトを活用しました。出店時に名刺サイズの前着回収案内カードを持参し、配布しました。

#### 4) 販売協力団体

各団体と協力し、季節やお客さんに合った品揃え、定期的な商品の入れ替えを行いました。各箇所、売り上げの目標達成には至りませんでした。常連さんがついていて、欲しい商品のリクエストや、入れ替えの日に合わせての来店がありました。また、古着回収への協力もありました。

#### 5) 市民活動と連動した企画

##### ① 協力団体主催の企画、市民活動と連動した様々な企画へ参加しました(P6,P7 参照)

ファイバーリサイクルうらやすは各地の市民祭り参加や、リサイクル着物市開催など協力がありました。使いまわし工房は松戸市みらいフェスタやエコメッセ参加に協力がありました。NPO せっけんの街による着物の委託販売がありました。生活クラブ風の村とんぼ舎佐倉の直売会へ定期的に参加しました。

##### ② 支援バザールを JR 船橋駅北ロデッキにて、年 2 回 (11 月と 4 月) に開催し、国内古着、輸入古着、着物などを販売しました。学生ボランティアサークルを含む様々な方の協力がありました。

新たな古着販売イベントの会場として、都内数カ所を検討しましたが、実施には至りませんでした。

##### ③ JFSA 主催のバザール

千葉センターは 12 月と 6 月、東葛センターは 12 月と 5 月にそれぞれ開催しました。千葉センターは 6 月開催時に「児童労働反対世界デーキャンペーン」賛同企画として写真展を同時開催しました。東葛センター・千葉センターの各バザールで「kar-khana(カルハナ)」のアピールを行ないました。

##### ④ リサイクル着物市企画関係

・和衣マルシェちば@まる空間…開催時間を延長し、Tomo's Café が継続的に出店しました。告知にフェイスブックページを活用しフォロワー数は年度内で約 500 名増加しました。

・実行委員会主催(回転木馬、ぷちそら、JFSA)…3 月にリサイクル着物市を生活クラブ虹の街のスペースにて開催しました。ホームページを新たに作成し、初めてチラシをカラー外注化しました。生活クラブ虹の街は組合員へのチラシ配布に協力がありました。

・ファイバーリサイクルうらやす主催…3 月にリサイクル着物市が「まちづくり活動プラザ」で開催されました。昨年より広いスペースを使い、大勢のボランティアの皆さんの協力で売上を伸ばしました。

##### ⑤ その他の実行委員会参加イベント

ぽっぽの市は 2019 年 4 月開催時、地域紙「ちいき新聞」に記事掲載されたこともあり、大勢の参加がありました。JFSA は販売、回収、そして開催を通したネットワーク作りを目的として参加していますが、古着販売の場としての活用がまだ不十分であることが課題となりました。「アースデイちば」、「新松戸中央公園チャリティーフリーマーケット」の実行委員会に継続して参加しました。

#### 4. 広報活動と会員の参加

##### 1) 会員数の増減

	会員数 (うち新規入会数)	前年比	口数	前年比	計画口数
会員 (個人)	143 名 (13 名)	-1	155 口	-2	160 口
支援メンバー (個人)	1,100 名 (127 名)	-14	1,235 口	-41	1,350 口
会員 (団体)	12 団体 (1)	+1	12 口	+1	11 口
支援メンバー (団体)	5 団体 (0)	±0	5 口	±0	5 口

(2019 年 9 月末日)

古着の回収に参加した方には、回収の案内、古着のゆくえについてのお知らせといっしょに入会の呼びかけを郵送しました (のべ約 11,000 人)。また、ホームページにも入会の案内を掲載しました。

新規入会者は 140 名 (2016 年度 143 名) で、計画に届きませんでした。継続率は 87.7% (2017 年度 84.0%) でこれまででいちばん高くなりましたが、会員数は 4 年連続して減少する結果になっています。

2019 年 7 月には招日交流会を開催し、ハガキで参加を呼びかけ、12 人の会員、支援メンバーが参加

しました。会員が集う機会を作ることや、メールなどを活用して情報を伝える方法などについては、計画をたて実行することが必要です。

## 2 ) 広報活動

会報を年3回発行しました。49号から、アル・カイルアカデミーやパキスタンに暮らす人々の様子を写真で紹介するページを設けました。回収案内を回収期間が始まる約1か月前に発送しました。発送には、送っていただいた切手などを郵送料として使用しました。

回収案内のレイアウトを変更しました。1月からの回収案内送付には、書き損じはがきや切手を募るチラシを同封しました。5月からの回収案内の送付には、友人への紹介や保存用に活用してもらえる名刺サイズのカードを作り同封しました。

朝日新聞の別冊“GLOBE”(2018年12月2日号)の「古着はどこへ行く」という特集の中で紹介記事が掲載されました。パルシステム連合会発行の「のんびる12月号」内で衣類や毛布などの回収紹介記事が掲載されました。

ホームページは、回収のページ、会報のページなどの更新になりました。ホームページを見た方からの古着の送付件数は減少しています。

## 3 ) サポーターグッズ

2018年度のサポーターグッズとして、カミューズシャルワールの生地を使用したアームバンドの作成をアル・カイルアカデミーに依頼しました。1個200円でオーダー、8月中旬に1549個受領しました。会報50号と一緒に送付しました。これまでのサポーターグッズ(ブックカバー・名刺入れ)をイベントで販売しました。アームバンドは受領が年度末だったため、販売できませんでした。

## 4 ) ボランティア参加

コンテナ送り出し、会報や回収案内の発送作業、フリマやイベント出店(出展)、チャリティバザールでの準備や片付け、販売などで協力がありました。和服の専門知識のある方に、和服の整理やイベントでの販売で協力がありました。

## 5 ) 活動報告会・交流会など

2018年度も団体会員、団体支援メンバーなどの協力を得ながら、様々な場所で活動説明会、販売、古着回収を行ないました。

### ●活動報告会・交流会

#### 【11月】

30(金)パルシステム千葉 千葉センター カレー講習&活動説明会

#### 【12月】

10(土)生活クラブ埼玉 大宮支部訪問

21(金)ファイバーリサイクルうらやす 20周年記念交流会・活動拠点お披露目会

#### 【1月】

19(土)生活クラブ虹の街 新年会

21(月)幕張インターナショナルスクール(6年生40名)千葉センター見学、常総生協訪問

#### 【3月】

4(月)生活クラブ茨城 水戸センター交流会

6(水)生活クラブ茨城 牛久センター交流会

22(金)NPO法人エコメッセ訪問

25(月)生活クラブ茨城 取手センター交流会

30(土)大地を守る会 選別体験&交流会

#### 【4月】

18(木)生活クラブ虹の街 千葉ブロック総代会

19(金)生活クラブ虹の街 柏ブロック総代会

20(土)ファイバーリサイクル四街道 定期総会

23(火)常総生協訪問

**【5月】**

10日(金)パルシステム千葉 キューブ館山 選別体験&活動報告会  
24日(金)パルシステム千葉 野田中根店 活動紹介&カレー試食会  
29日(水)ワーカーズコレクティブ千葉県連合会 定期総会

**【6月】**

6日(木)アーシアン 定期総会  
8日(土)NPOクラブ 定期総会  
14日(金)生活クラブ虹の街 職員研修会(柏センター)  
18日(火)生活クラブ虹の街 総代会  
26日(水)常総生協理事会 活動説明会

**【7月】**

3日(水)生活クラブ茨城 牛久センター 選別体験&活動報告会  
8日(月)生活クラブ茨城 水戸センター 選別体験&活動報告会  
11日(木)パルシステム千葉 理事との招日交流会(パルひろば千葉)、アーシアン訪問(招日)  
12日(金)パルシステム茨城 栃木 招日交流会  
14日(日)JFSA千葉センター 招日交流会  
15日(月)常総生協 招日講演会  
16日(火)生活クラブ虹の街 理事会訪問(招日)

**【8月】**

9日(金) 生活クラブ虹の街 職員研修会(佐倉センター)

**【9月】**

7日(土)パルシステム茨城 栃木 那珂センター学習会  
16日(月)パルシステム千葉 東金センター 選別体験&活動報告会  
20日(金)生活クラブ虹の街 職員研修会(市原センター)

**●市民活動と連動した企画（販売／回収）**

**【10月】**

6日(土)和衣マルシェちば(まる空間)、生活クラブ虹の街 虹色フェスタ  
21日(日)パルシステム千葉 野田生協まつり  
28日(日)新松戸チャリティーフリーマーケット、行徳まつり(協力:ファイバーリサイクルうらやす)

**【11月】**

3日(土)いちかわ市民祭り(協力:ファイバーリサイクルうらやす)、和衣マルシェちば  
10日(土)11日(日)大古着市(JR船橋駅北口デッキ)  
18日(日)ぼっぼの市  
24日(土)あらかわ再発見 2018

**【12月】**

11日(土)和衣マルシェちば  
12日(日)kapre 冬のバザール(JFSA東葛センター)  
19日(日)チャリティバザール(JFSA千葉センター)  
15日(土)幕張ベイタウン朝市 古着回収、とんぼ舎直販会

**【1月】**

12日(土)和衣マルシェちば、軒先市  
19日(土)とんぼ舎直販会

**【2月】**

2日(土)和衣マルシェちば  
9日(土)軒先市  
17日(日)リサイクル着物市(生活クラブ虹の街 スペース渚)

**【3月】**

2日(土)和衣マルシェちば  
2日(土)-3日(日)NPOせっけんの街によるJFSA着物委託販売(生活クラブ虹の街 松戸センター)  
3日(日)大地を守る会 オーガニックフェスタ 2019  
9日(土)-10日(日)NPOせっけんの街によるJFSA着物委託販売(生活クラブ虹の街 佐倉センター)  
9日(土)軒先市  
11日(月)生活クラブ埼玉大宮支部 古着回収  
16日(土)とんぼ舎直販会  
17日(日)お蔵フェスタ  
23日(土)松戸みらいフェスタ 2019  
24日(日)-26日(火)うらやすリサイクル着物市(ファイバーリサイクルうらやすによるJFSA着物委託販売)

**【4月】**

6日(土)和衣マルシェちば、6日(土)-7日(日)大古着市(JR船橋駅北口デッキ)  
13日(土)軒先市

14日(日)ぼっぼの市  
20日(土)幕張ベイタウン朝市 古着回収、とんぼ舎直販会  
21日(日)新松戸中央公園チャリティーフリーマーケット

#### 【5月】

3日(金)kapre バザール(JFSA 東葛センター)  
4日(土)和衣マルシェちば  
11日(土)軒先市  
12日(日)フェアトレードフェスタちば 2019  
18日(土)幕張ベイタウンまつり 古着回収

#### 【6月】

1日(土)和衣マルシェちば(まる空間)  
9日(日)チャリティーバザール(JFSA千葉センター)  
15日(土)大地を守る会 100万人のキャンドルナイト@増上寺 2019

#### 【7月】

6日(土)生活クラブ・東京23区南 大田センターミニ展示会、和衣マルシェちば  
13日(土)軒先市

#### 【8月】

3日(土)和衣マルシェちば  
10日(土)軒先市  
31日(土)パルシステム千葉 キューブ館山まつり、幕張ベイタウン夏まつり 古着回収

## 5. 研修

店舗運営のための内部研修を、千葉店、柏店担当事務局で行ないました。公開の学習会については、アイデアの検討にとどまりました。

## 6. 多様な団体との連携

### 1) 地球市民交流基金アーシアン

2019年6月、千葉センターのチャリティーバザールに出店していただきました。2019年7月のムザヒル校長招日時には交流会が開かれ、アル・カイルアカデミー縫製科への寄付金と給食費用のカンパが贈られました。

縫製工房に、展示会用商品としてパジャマのオーダーを2020年4月納品予定でいただきました。

### 2) NPO クラブ

理事会に参加しました。NPOクラブが運営する多世代地域交流拠点おおなみなみで古着の委託販売を行ないました。コンテナの送り出しに事務局スタッフが1名参加しました。「人材育成」という点から取材を受け、「ニュースレターつぎのいっぽくん5月号」に掲載されました。

### 3) ワーカーズコレクティブ千葉県連合会

総会に参加しました。千葉市での着物市を(企)ワーカーズ・コレクティブ回轉木馬と一緒に行ないました。

### 4) ファイバーリサイクル四街道、ファイバーリサイクルうらやす、ファイバーリサイクル佐倉

・ファイバーリサイクル四街道・・・総会で活動報告をしました。活動収益金の一部を寄付していただきました。コンテナ送り出し積込みボランティア、招日交流、地域イベントでの販売などに協力していただきました。

・ファイバーリサイクルうらやす・・・総会で活動報告をしました。活動収益金の一部を寄付していただきました。アル・カイルアカデミーのコンピュータークラスへの寄付をいただきました。コンテナ送り出し積込みボランティア、招日交流、地域イベントでの販売などに協力していただきました。20周年記念交流会・活動拠点お披露目会に参加しました。

・ファイバーリサイクル佐倉・・・活動収益の一部を寄付していただきました。アル・カイル事業グループ縫製工房への寄付をいただきました。

## 5) 団体会員、団体支援メンバー

回収協力団体では回収の広報を定期的にしていただき、メンバーの方たちの回収参加、イベントなどの出展、招日交流、報告会の開催などに協力していただきました。

- ① 大地を守る会（回収協力団体）・・・招日交流、コンテナ送り出し積みボランティア、会長と事務局の方のパキスタン訪問、写真展の開催、イベント出展に協力していただきました。
- ② パルシステム千葉（回収協力団体）・・・招日交流、イベント出展、回収&選別体験企画開催、センター祭りと古着回収、古着送り出しコンテナ積み込み、パキスタンカレー講習&活動報告会開催に協力していただきました。
- ③ 生活クラブ・東京（回収協力団体）・・・配達便回収（ベイセンター、年間3回）に協力していただきました。広報誌に記事を掲載して活動を紹介していただきました。センター展示会での古着回収と販売に協力していただきました。生活クラブ・東京 50周年記念企画として、縫製工房製品の取り組みをしていただきました。
- ④ 生活クラブ虹の街（回収協力団体）・・・招日交流、配達便による古着回収（年間3回）、デポー（生活クラブの店舗）での回収（年間6回）と古着販売、コンテナ送り出し積みボランティアに協力していただきました。ぽっぽの市に出店していただきました。各センターで、職員の方を対象にした研修会として、活動説明&パキスタンカレー夕食会を開催していただきました。
- ⑤ ポラン広場（回収協力団体）・・・回収に協力していただきました。
- ⑥ 社会福祉法人生活クラブ風の村・・・事業所で開催される地域イベントに継続して出店しました。JFSA 千葉ショップの「軒先市」には、とんぼ舎佐倉に出店していただきました。
- ⑦ はぎれくらぶ麻の葉・・・和服整理と販売のボランティア、和服販売企画に協力していただきました。
- ⑧ 生活クラブ茨城（回収協力団体）・・・配達便による古着回収（年3回）とその後の仕分け&交流会開催、学習会の開催、招日交流、イベント出展に協力していただきました。
- ⑨ グリーンコープ・・・招日交流会を開催していただきました。役員の方がパキスタンを訪問しました。グリーンコープ食育ワーカーズに縫製工房で作ったエプロンを納品しました。
- ⑩ パルシステム茨城（回収協力団体）・・・招日交流、学習会&古着回収・選別体験企画開催に協力していただきました。
- ⑪ 生活クラブ埼玉（回収協力団体）・・・イベント出展に協力していただきました。大宮支部主催の地域イベントで回収に協力していただきました。

## 6) 他のNPO/NGOとの交流

児童労働反対世界デーキャンペーンに参加し、6月の千葉センターチャリティーバザールで児童労働についての写真展を開催しました。NPO 法人エコメッセの総会に参加しました。また衣類などの寄付を受けました。あうんとは、お互いが主催するイベントに参加しました。ユーズリサイクルセンターは、片付け事業で発生した古着の寄付がありました。

## 7) 企業や団体、学校との協力関係

千葉センター・東葛センターの各バザールや千葉センターの軒先市開催時に駐車場をお借りしました。婦人礼服メーカーから店頭でのバッグ回収についての相談があり試験的な実施が決まりました。ベイタウン幕張の朝市や祭り等で古着回収を行ないました。幕張インターナショナルスクール 6年生による JFSA 千葉センター見学、古着回収協力がありました。また寝具のリース企業から、ベッドシートなどの寄贈がありました。

## 8) APF（互惠のためのアジア民衆基金）との連携、AKBGによる新規事業への協力

APF 総会（於ソウル）にムザヒル氏、カユーム氏とともに参加しました。AKBGによる新規事業に対する融資は決定され、その後、事業の準備に協力しました。

APF 社員のハンサリム連合(韓国)は、古着の回収を行ない、販売収益をアル・カイールアカデミーへ



寄付しました。パキスタンを訪問しました。

#### 9) 社会福祉法人グリーンコープ

ムザヒル氏、カユーム氏とともに、ファイバーリサイクル事業部を訪問しました。ファイバーリサイクル事業部スタッフの方がパキスタンを訪問しました。協議の場を持つことができませんでした。

#### 10) ユニバーサル就労ネットワークちば

会員として参加しました。

### 7. アル・カイルアカデミーの教育・連帯事業に関わるパキスタンの人々との交流

#### 1) 招日

以下の通り招日を行ない、協力団体、JFSA 会員・支援メンバーの皆さんとの交流をしました。

10月20日～10月24日：ムザヒル氏・カユーム氏招日

7月10日～7月17日：ムザヒル氏・カユーム氏招日

#### 2) 派遣

事務局派遣は、それぞれ目的に沿った派遣を行ないました。

主な派遣目的…AKBG 事業活動の推進、アル・カイルアカデミー教育事業の確認、輸入古着の仕入れ、同行者のガイド

以下の通り事務局派遣を行ないました。また各協力団体・協力者が同行し現地案内を行ないました。

10月31日～11月7日：田邊・大橋派遣

11月2日～11月16日：田辺航太郎派遣

11月12日～11月19日：入江派遣

2月1日～2月8日：田辺航太郎派遣

2月1日～2月15日：小島派遣

3月6日～3月13日：依知川派遣（3月8日～3月13日：グリーンコープ同行）

6月26日～7月10日：田辺航太郎・入江派遣

7月22日～8月3日：小島派遣

7月29日～8月6日：依知川派遣（7月29日～8月3日：オイシックス・ラ・大地同行）

8月26日～9月2日：依知川・大橋（社福グリーンコープファイバーリサイクルセンタースタッフ同行）  
（8月26日～8月30日：ハンサリム連合同行）

### 8. 危機管理の充実

#### 1) 国内事業

定例のスタッフミーティングを行ない、安全管理に努めました。リスクマネジメントマニュアルの改訂には至りませんでした。

#### 2) 海外事業

現地ではマニュアルに沿った行動をとりました。危機を想定したシミュレーションを行なうことはできませんでした。